

# SD-WANを活用した企業のセキュリティ対策

## Enhancing enterprise network security by utilizing SD-WAN

野島 主成・法制倫理分科会・情報セキュリティ大学院大学

<Abstract>

Changes will be made to the corporate information and telecommunications network, reflecting the changes of the environment, such as increased use of cloud services, speeding up business development and dealing with business integration / separation, as well as making the IoT (Internet of Things) connection equipment ready for multi-device support. The number of cases where SD-WAN (Software Defined WAN) is introduced as one means to solve these problems is increasing. In this study, as security measures that enterprises can introduce SD-WAN, prevention of spread of virus infection, examination, verification and evaluation of measures to strengthen security at the time of using cloud are examined

### 背景・目的

【企業内情報通信ネットワークを取り巻く環境】

- ・企業におけるクラウドサービス利用の増加
- ・事業統合・分離への対応
- ・IoTなどの企業ネットワーク接続機器の多様化

【企業内情報通信ネットワークの問題点】

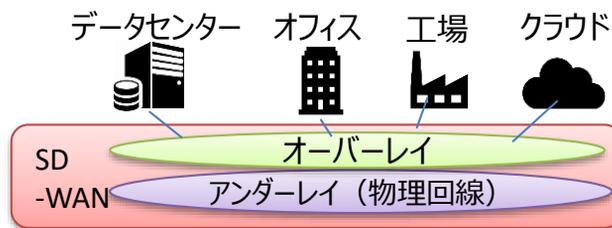
- ・ウイルス感染
- ・運用管理人材不足
- ・運用コスト増大
- ・セキュリティ対応

### SD-WANを活用したセキュリティ対策

### SD-WANとは？

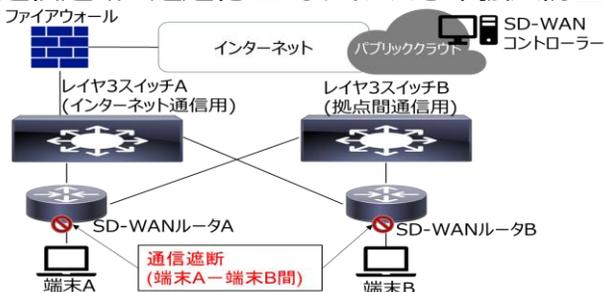
SD-WAN (Software-Defined WAN)

従来の物理回線をアンダーレイ回線として用いながら、オーバーレイによる仮定のWAN構成を実現する。集中管理による運用管理効率向上、回線利用効率向上、コスト削減等が期待されている。



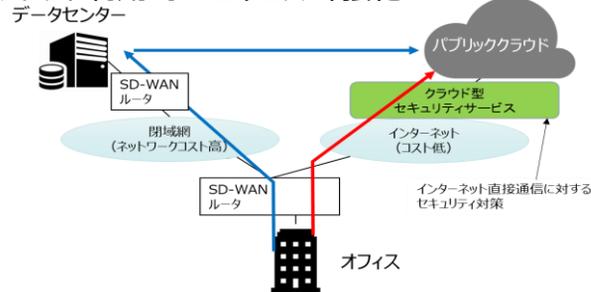
### 提案概要

①通信遮断の迅速化によるウイルス感染拡大防止



SD-WANで拠点間通信遮断を迅速化し、ウイルス感染拡大を防止

②クラウド利用時のセキュリティ強化



拠点からインターネットへ直接通信する際にクラウド型セキュリティサービスを活用してセキュリティ対策を強化

### 評価・まとめ

- ・ウイルス感染拡大防止策として、拠点の増減に関わらず5分程度で通信を遮断可能であったことから、特に大規模ネットワークで有効な手段である。
- ・クラウド利用時のセキュリティ対策として、クラウド型のセキュリティサービスの利用が有効であると考えられるが構成によってはSD-WANで利用できない場合もあり、今後の課題である。